

ゲノム情報を基盤としたイネ - いもち病菌相互作用の解析と耐病性機構の解明  
- 今後の我が国におけるイネいもち病研究戦略の展望 -

平成17年9月28日(水) 午前10時~午後6時半

東京大学農学部(弥生キャンパス) 農学部1号館2階8番教室

主催: 農業技術情報協会、日本学会議・植物防疫研連、東京大学

### 趣 旨

イネの全ゲノム解読が我が国を中心とした研究者によって達成され、その知見を応用できる展望が開けてきた。また、イネの最大病害であるいもち病については、近年イネ - いもち病菌の系が宿主 - 寄生者相互作用研究の優れたモデルとして認識されてきたことから、世界中の研究者のターゲットとなっており、いもち病菌のゲノム情報に関する知見も急速に蓄積されている。

一方、我が国では、長年にわたるいもち病に関する諸分野の研究蓄積があることから、近年進歩が目覚ましいイネ・いもち病菌の両者のゲノム情報を利用して、他国にはない視点からの応用研究、基礎研究のいずれにおいても新たな研究の展開が期待される。

そこで、イネいもち病菌のゲノム・分子生物学研究およびその応用に関心のある国内の多数研究者が集まり、有効な研究アプローチや共同研究の可能性等について討議を行い、今後の我が国におけるイネいもち病研究戦略を展望する討論会を行う。

発表予定者(50音順): 芦澤武人(中央農研) 有江力(東京農工大) 池田健一(生物研) 鎌倉高志(東京理科大) 川崎信二(生物研) 川崎努(奈良先端大) 草場基章(佐賀大) 久保康之(京都府大) 古賀博則(石川県大) 佐藤宏之(作物研) 善林薫(東北農研) 曾根輝雄(北大) 高辻博志(生物研) 高野義孝(京大) 寺内良平(岩手生工研) 寺岡 徹(東京農工大) 土佐幸雄(神戸大) 中屋敷均(神戸大) 西村麻里江(生物研) 林長生(生物研) 廣近洋彦(生物研) 福岡修一(生物研) 南栄一(生物研) 森野和子(中央農研) 安田伸子(中央農研)

### 議 事(予定)

10:00-12:00 セッション1(発表演題 抵抗性育種を巡って)

昼休み

13:00-15:00 セッション2(発表演題 宿主・病原菌相互作用のモデル系として)

休憩

15:30-17:00 セッション3(発表演題 防除技術等への応用を目指して)

17:00-18:30 総合討論

18:45-20:20 ミクサー (東大農学部生協食堂 会費 3000円予定)

会議は無料です。会場の大きさが限られていますので、参加希望者は事前に事務局(下記)に連絡をお願いします。ミクサーは原則事前予約とします。

### 事務局:

加来久敏(農業生物資源研究所・遺伝資源研究グループ・上席研究官 [hkaku@nias.affrc.go.jp](mailto:hkaku@nias.affrc.go.jp))

石黒 潔(農林水産省農林水産技術会議事務局・研究交流管理官 [ishiguro@affrc.go.jp](mailto:ishiguro@affrc.go.jp))

荻原 均(農林水産省農林水産技術会議事務局・研究調査官 [ogi@affrc.go.jp](mailto:ogi@affrc.go.jp))

### 世話人

寺岡 徹(東京農工大学農学部 教授)

難波成任(東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授)